



# 新年度が始まりました！

校長 神原 由香里

3月末には校庭の桜が満開となり、先日桜散らしの雨が降り、新学期初日に桜が残っているか心配していましたが、今日子どもたちの進級を祝うために美しく咲いています。さあ、今日からいよいよ新学期スタートです。春は「出会いの季節」です。いつも気持ちのいい挨拶ができる若松っ子ですが、今日も元気な「おはようございます！」のあいさつが校舎に響いていました！「今年1年頑張るぞ」と気合い十分でした。

さて、若松小は、64名の新1年生を加えた388名の子どもたちと「チーム若松」の新しいスタッフ10名を加えた39名の教職員でのスタートとなりました。子どもたち一人ひとりの思いを大切に、全力で指導支援にあたります。思いやりと明るさにあふれる学校づくりをめざして教育活動に取り組んでまいります。これまで同様に保護者並びに地域の皆様のご理解ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

今年度も昨年度に引き続き、学校教育目標は、次のようになります。具現化に向けて、「チーム若松」として一丸となって指導にあたります。

**豊かな心で 生き生きと活動する子の育成**  
～自分から行動できる子をめざして～

**あたりまえのことを あたりまえにできる子**

今年度も合言葉は、「自分から」そして「あたりまえのことを あたりまえに」の2つです！今年も子どもたちが「自分から」何に挑戦するのが楽しみです。その挑戦を一緒に考え、後押ししていくように支援していきます。さらに、「あたりまえのことを あたりまえに」できることが最強であり、「あたりまえのことを あたりまえに」できる毎日が最高に幸せであることを子どもたちに伝え、感謝の気持ちを大切にできる子どもたちを育てていきたいと考えています。

2026年度		若松小 オールスタッフ
1	校長	神原由香里
2	副校長	橋本 千帆（鶴の台小より）
3	教務主任	橋本 真由美
4	松の実1	長谷川 玲香
5	松の実2	齊藤 美菜子（鹿島台小より）
6	松の実3	竹内 麻香
7	1-1	及川 凌雅
8	1-2	丹後 知子
9	2-1	原 かおり
10	2-2	伊藤 加那子
11	3-1	潮田 海人
12	3-2	間瀬 陽子（もえぎ台小より）
13	4-1	大川 弥生
14	4-2	福田 ゆうみ（新採用）
15	4-3	岩松 宏典
16	5-1	山下 光恵
17	5-2	加藤 翔太（小山中より）
18	6-1	鬼頭 美優
19	6-2	田中 毅彦
20	級外：児童支援専任	藤田 久美
21	級外：専科（理科）	川崎 詩花（相武台小より）
22	級外：専科（図工）	細田 真麻（大沢小より）
23	養護教諭	志方 哲美
24	栄養教諭	佐藤 幸子
25	事務主事	山口 知子
26	級外：専科（音楽）	岸本 江理子
27	級外：専科（音楽）	伊藤 広愛（相武台小より）
28	級外：専科（初任研）	長原 千秋（もえぎ台小より）
29	技能補助員	沖田 寛夫
30	技能補助員	山口 隆
31	介助員	武者 美千代
32	介助員	山西 藍
33	観察実験アシスタント	福井 広己
34	支援教育支援員	山下 洋子
35	支援教育支援員（学習）	中島 ひろみ（陽光台小より）
36	学校司書	星井 美樹
37	SSS	三瓶 由香
38	SC	阿部 杏奈
39	SSW	田村 真桜

# R8若松小学校 学校経営方針

学校教育目標: 豊かな心で 生き生きと活動する子の育成  
～自分から行動できる子をめざして～

大野南中区 テーマ  
「他者を大切にし、  
互いの考えを自己の成長や  
生き方に活かせる子」

つながる力

(創造)

創造力

進んで学びに向かおうとする子

- ① 課題に向かって取り組む子
- ② 最後まで粘り強く取り組む子
- ③ 興味を広げ挑戦する子

教科担任制の強化

教科横断的学習の展開

→生活・総合的な学習の時間の充実

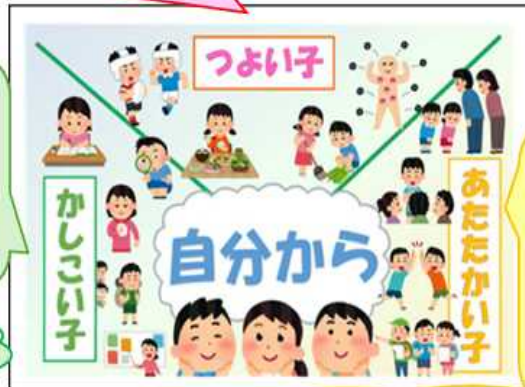
進んで健康な身体をつくる子

- ① 運動する子
- ② 食に興味をもち、考える子
- ③ 身の回りの整理整頓や掃除をする子

(自立)

総合力

学年・学年団での  
活動重視



(共生)

想像力

進んで人と関わろうとする子

- ① あいさつする子
- ② 相手の気持ちを考える子
- ③ 相手の良いところを見つけ  
認めようとする子

道徳の充実(全学年で WKAP 実施)

特別活動の充実(異学年交流の充実)

→ふれあい班の活用



学びを通して**自分から**やりたいことを見つけ、どんどん自分の興味を広げ自分を創り上げていく力…**創造力**を育み、コミュニケーションを取りながら周りに関わり、相手軸で考えていく力…**想像力**を鍛え、良い集団、クラス、学年を作っていくように指導していきたいと思います。そして、心身ともに健康であることがなんでも頑張り、挑戦する原動力になっていく…、つまり、**総合力**を培っていくことが、豊かな心をもち、生き生きと活動できる子どもたちの育成につながっていくと考えています。

本日の始業式では、「チューリップ」について話しました。

「右は何の球根でしょうか？」

「そもそもチューリップには、種はあるでしょうか？」

「チューリップは何種類あるでしょうか？」などなど。



実は、チューリップの原種は 100 種類以上、そして、かけ合わせて作った品種は 5000～6500 種類以上もあるそうです。「チューリップ」の花言葉は、「思いやり」です。子どもたち一人ひとりの思いやりによって、可能性もどんどん増していく…それこそ友だちと切磋琢磨することで、相乗効果となり、

どこまで伸びていけるかは未知数であること、だからこそ「思いやり」を大事にしてほしい、と話しました。今年度も若松小の子どもたちの活躍にどうぞご期待ください。

